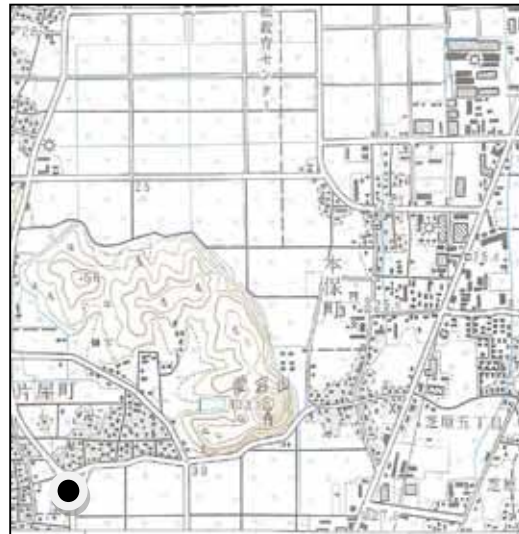


かたやかんだいせき
19. 片屋神田遺跡

所在地：越前市片屋町地係
調査原因：道路拡幅工事
調査期間：平成 27 年 6 月 1 日～24 日
調査主体：越前市教育委員会
調査面積：550 m²
時代：古代



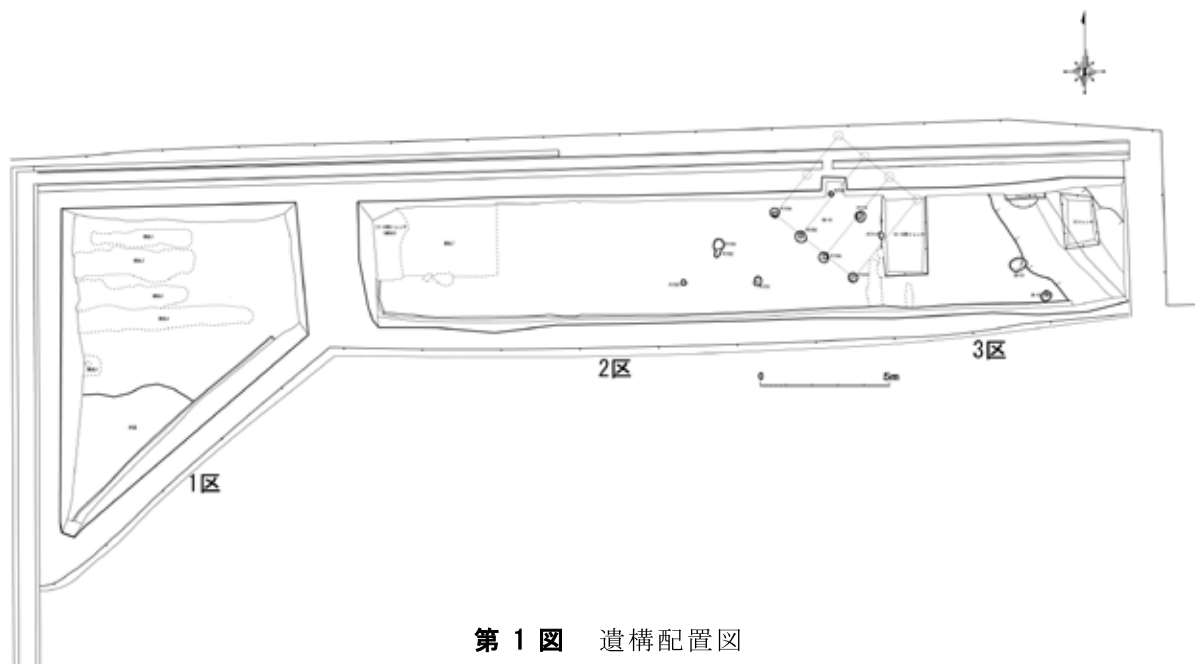
位置図 (S=1/25,000)

調査の概要 今回の発掘調査は、道路拡幅工事に伴い平成 26 年度に試掘調査を実施したところ、遺構が検出され、遺跡の存在が判明したため実施しました。

遺構 掘立柱建物 1 棟、溝を検出しました。掘立柱建物跡は 40 cm～50 cm 程度の柱穴が 7 箇所並んで検出されましたが、規模については不明です。ただし、柱穴の大きさから、それほど大きな建物ではなかったと推測されます。溝については、自然流路と思われるもので、出土遺物から古代のものと推定されます。

遺物 遺物として土師器、須恵器、越前焼などを検出しました。遺物はすべてが破片です。

まとめ 今回の調査場所は、遺跡の中心から北に離れている箇所になります。しかし、今回の調査によって遺跡の一部が北に伸びていることが判明したことは、一つの成果であったといえます。 (用田聖実)



第 1 図 遺構配置図



写真1 調査区1区



写真2 調査区2区



写真3 調査区3区



写真4 掘立柱建物



写真5 出土遺物